

発達保育実践政策学センター（Cedep）×株式会社ライフケアパートナーズ
共同研究シンポジウム

企業主導型保育所の発展に向けて
～研修動画の作成・協力園の調査結果から～

研究動画作成の背景と意図

発達保育実践政策学センター

野澤 祥子

Cedep×ライフケアパートナーズ(日本生命G) 共同研究

➤ 調査研究の実施と情報提供

- リーフレットの作成
 - ・ 企業向け
 - ・ 保育者向け
- シンポジウムの実施
 - ・ 2019/11/3開催「企業主導型保育のこれから～保護者の選択と実際の姿～」
 - ・ 2021/8/25開催「企業主導型保育所のいま～2020年度 保護者・保育者調査の結果から～」



➤ 研修動画の作成と検討 ⇒ 本日のシンポジウムで報告

リーフレットはこちら
(ページ下部) ⇒

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/29276/>



企業主導型保育事業 制度概要

- 仕事と子育ての両立支援を目的に、内閣府の下で平成28年度に開始。
- 目的：
事業主拠出金を財源として、従業員の多様な働き方に応じた保育を提供する企業等を支援するとともに、待機児童対策に貢献すること
- 本事業のメリット：
 - 働き方に応じた多様で柔軟な保育サービスが提供できる
(延長・夜間、土日の保育、短時間・週2日のみの利用も可能)
 - 複数の企業が共同で設置することができる
 - 地域住民の子どもの受け入れができる
 - 運営費・整備費について認可施設並みの助成が受けられる
(内閣府 <https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/links/index.html>)
- 令和3年3月31日現在の企業主導型保育事業助成決定：
4,223施設、定員101,028人分

企業主導型保育をめぐる

■様々な期待

- 年度途中など、復職したいタイミングで入所できる（保活に悩まない）
- 休日や夜間、短時間、週2日のみなど、幅広い利用の仕方ができる
- 人材確保、離職防止にも繋がることへの期待

■一方で、課題も

- 定員割れの施設が目立ち、保育の質の確保も課題
- 施設や人員の不備が指摘されたり、健康診断の適正な実施が求められた施設も
- 自治体との情報共有が不十分
- 助成金の不正受給の発覚

2019/11/3開催「企業主導型保育のこれから～保護者の選択と実際の姿～」資料より

企業主導型保育事業点検・評価委員会

趣旨：事業を効果的・安定的に運営していく実施体制の構築に資する
第1回令和元年11月25日（月）～第11回令和3年9月30日（木）
（内閣府 <https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/etc.html>）

第5回 企業主導型保育事業費審査基準（案）について

吉田座長の発言

「今まで行われていたような不正受給を防止すること。また、事業の継続性を担保し、透明性を確保、そして保育の質を確保することが（審査基準の）大変重要な役割になる。」

「本審査基準が質の高い保育事業を、適切かつ安定的に提供し続けられるかを確認していくための外形的な事前チェックとなる。これに指導監査が加わり、さらにできれば自己評価、第三者評価を通じた改善努力も合わせて3つの目的、役割を実現して頂きたい。」

⇒保育の質の確保とそのための制度構築が課題となっている

児童育成協会による保育の質の確保・向上のための取組

➤ 指導・監査

①保育面を中心とした全般的な指導・監査等

立入調査（2021年度はリモート） 午睡時抜き打ち調査 巡回指導

②専門的な指導・監査

専門的労務監査 専門的財務監査

③特別立入調査（抜き打ちの立入調査）

➤ 相談支援業務

- 通常相談
- 通常相談以外の相談支援体制

➤ 研修の実施

①施設長等研修

②保育士研修（キャリアアップ研修） 2020年度新設

③保育安全研修

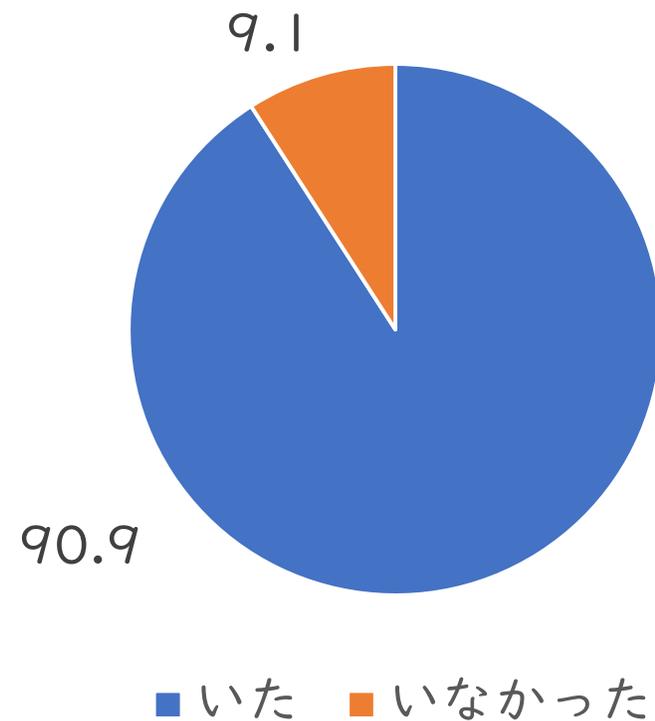
④子育て支援員研修

※eラーニング中心

共同研究 2019年(8~9月実施) 調査結果より

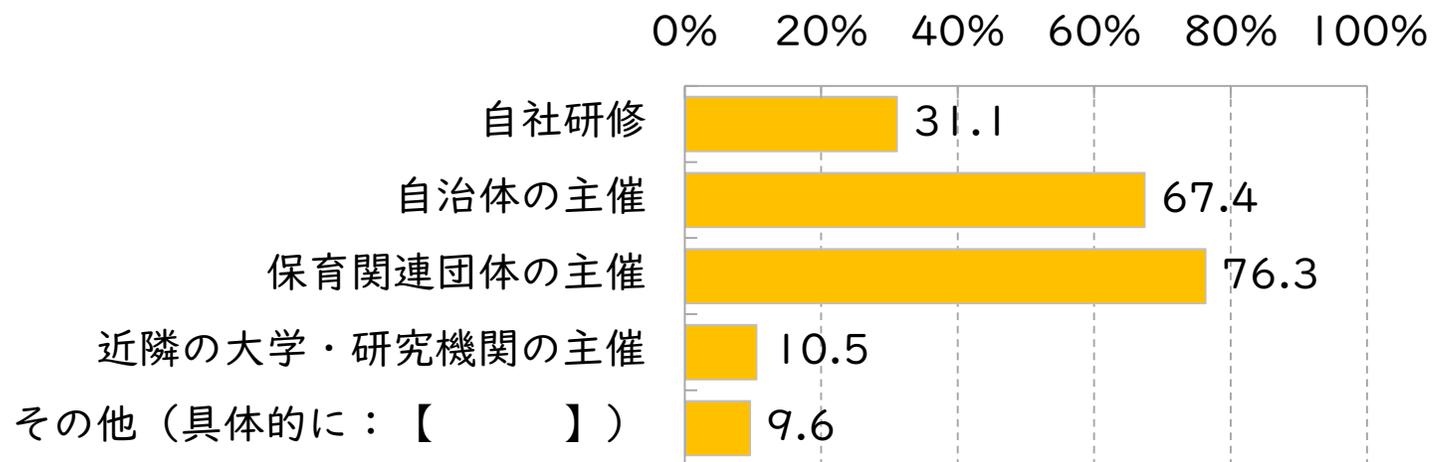
園外研修の参加状況 (平成30年度)

園外研修に参加した職員は



(n=584)

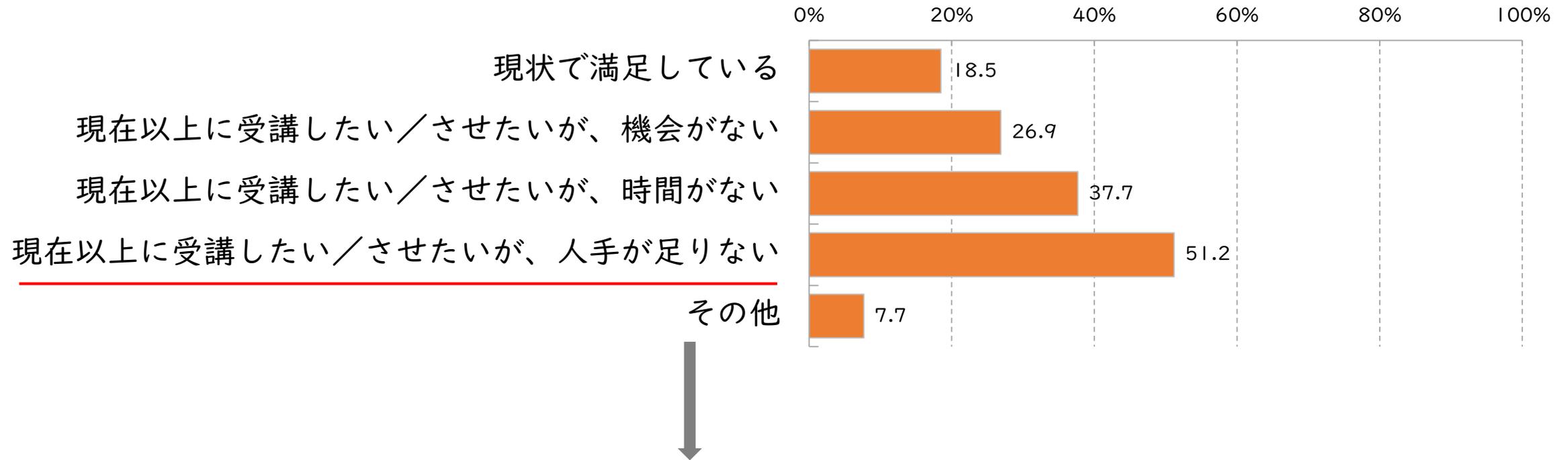
参加した園外研修の種類 (いくつでも)



(n=531)

今後の園外研修についての希望（いくつでも）

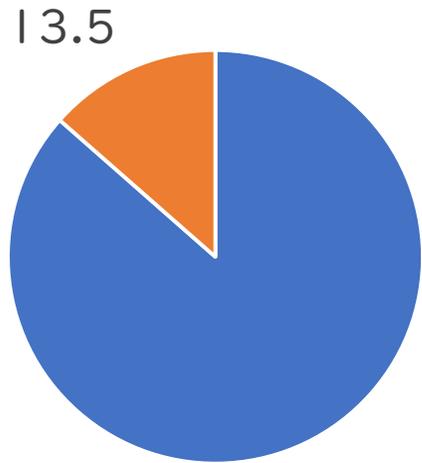
(n=584)



- 受講したい、させたい内容が見つからない／少ない。
- 人気の研修は抽選で受講できない場合がある。
- 認可外や企業主導型は対象外が多い。
- 受講を申し込んでも自治体の開催は認可外だからか落選して受講出来ない。

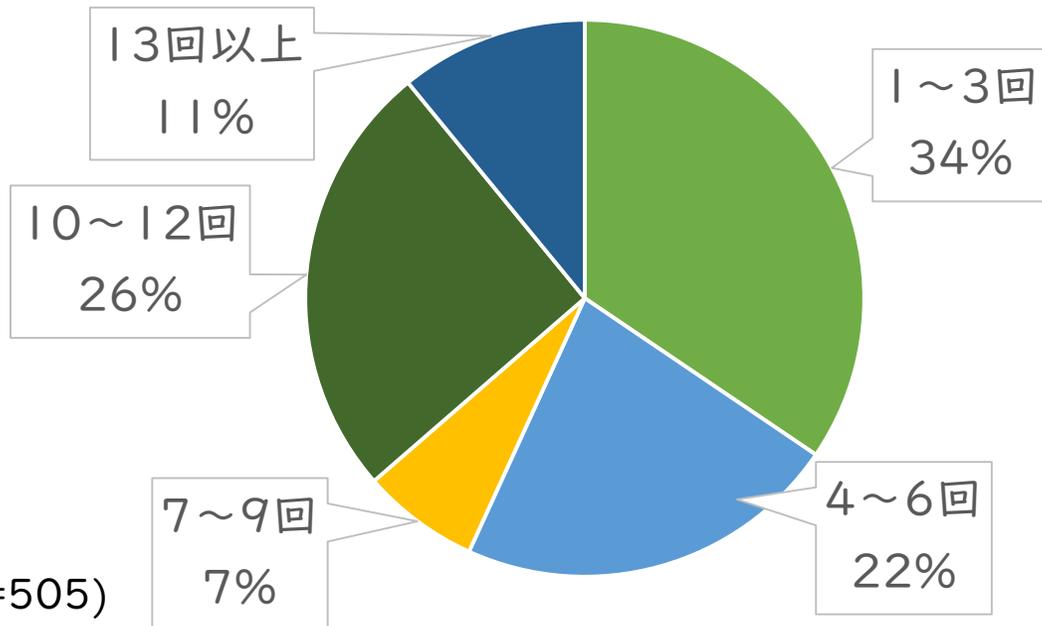
園内研修の実施状況（平成30年度の一年間で）

(n=584)

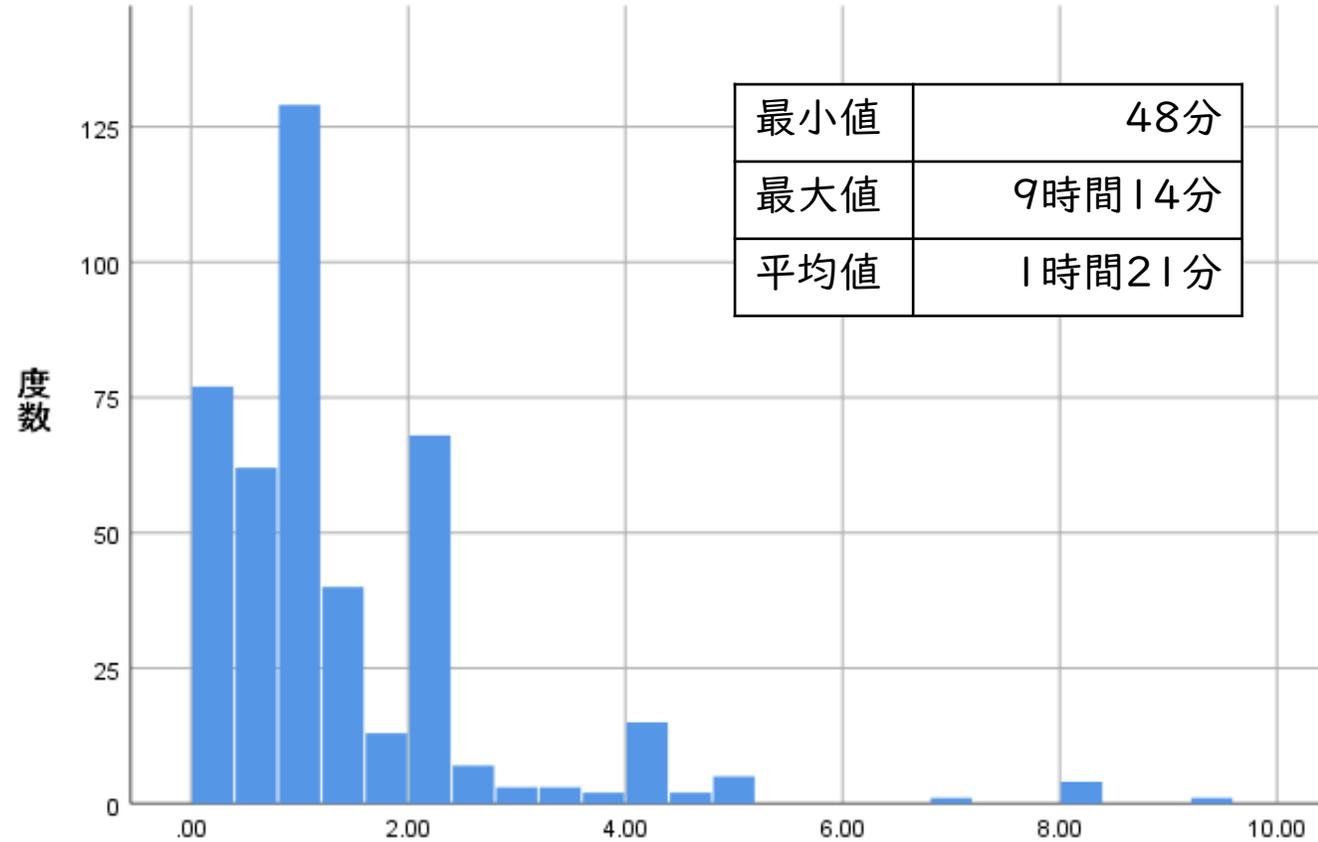


- 実施した
- 実施しなかった

一年間の実施回数



一回あたりの園内研修の時間（総時間/回数）



一回当たりの時間数（園内研修） (n=432)

(把握していない: 50名、欠損値:23名) ⁹

園内研修を実施するにあたって、難しいと感じていること

■ まったく難しくない ■ あまり難しくない ■ やや難しい ■ とても難しい

0% 20% 40% 60% 80% 100%

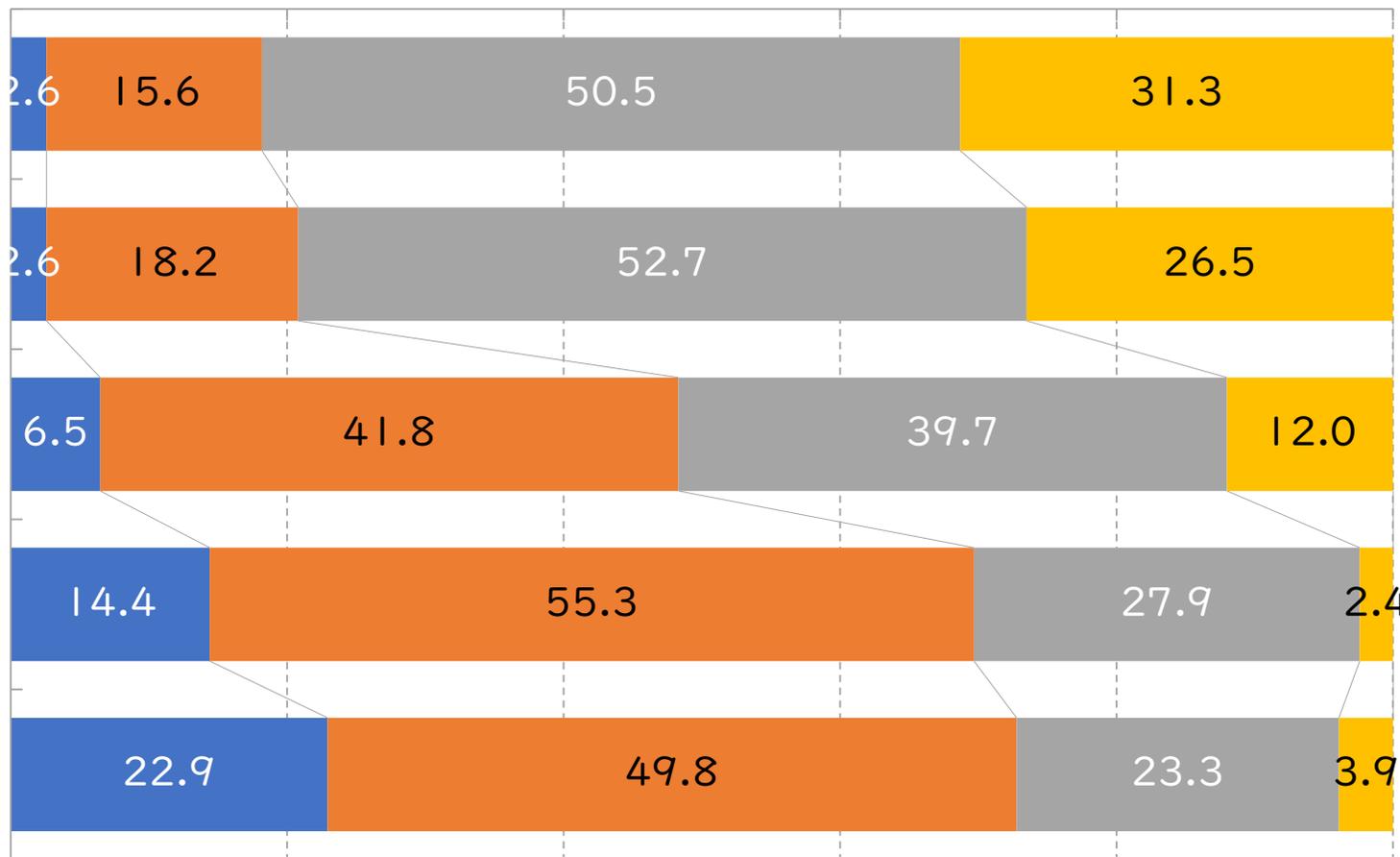
時間の確保

職員の配置・人数確保

職員の園内研修へのモチベーションを上げること

園内研修で取り上げるテーマを決めること

職員同士が話しやすい雰囲気づくり



(n=584 施設長の回答から)

調査結果を踏まえた研修動画の作成

□ 研修の課題

⇒時間や人手の不足など



□ 研修をどのようにサポートするか？

⇒研修動画の作成

- 現場の課題を踏まえ、個人が学んだり、実践を振り返るのに加え、園内での知見の共有や園内研修にもつなげていけるようにする

<方針>

- ひとつの動画は長くしない（15分～20分程度）
⇒どんな立場の職員でも見られるように
- 集合研修と個人研修を設ける
 - 集合研修：課題として集団で話し合う内容を提示
 - 個人研修：課題として個人で実践を振り返る内容を提示⇒園内研修にもつながるように
- 実際に動画を見てもらい、意見を反映させながら作成する
- 動画を見た感想や研修の実態等についてヒアリングを行う
⇒保育現場のニーズに応じた研修になるように

本日の内容

研修動画作成プロセスで実施したアンケート、作成した研修動画について検討するために実施したアンケート及びヒアリングに基づき、
以下についての考察を提示する。

- 研修にかかわる園の実態
- 今後の研修動画の課題